

平成20年度予算

「身の丈にあった行財政運営」をめざして

総額 665 億円を計上

一般会計 349 億円・前年対比 1.2% 増



歳入 349 億円

市 税
150 億 9578 万 8 千円 (43.2%)

地方交付税
57 億円 (16.3%)

国庫支出金
25 億 9294 万円 (7.4%)

繰入金
23 億 3032 万 4 千円 (6.7%)

市 債
22 億 3450 万円 (6.4%)

県支出金
17 億 8378 万 4 千円 (5.1%)

地方消費税交付金 10 億 5000 万円 (3.0%)
 地方譲与税 8 億 500 万円 (2.3%)
 諸収入 8 億 2185 万 2 千円 (2.4%)
 使用料及び手数料 5 億 1000 万 4 千円 (1.5%)
 分担金及び負担金 4 億 4108 万 4 千円 (1.3%)
 自動車取得税交付金 3 億 5000 万円 (1.0%)
 地方特例交付金 1 億 6400 万円 (0.5%)
 その他 10 億 2072 万 4 千円 (2.9%)

第1回市議会定例会で市が取り組む施策や事業などを盛り込んだ『平成20年度予算』が承認されました。そのあらましを紹介します。

一般会計の当初予算は、前年度に比べ1.2%増の349億円となりました。財政健全化に向けた新たな財源の確保、経常経費、事業経費の抑制に努めました。

特別会計全体の予算は、前年度に比べ20.9%減の249億円となりました。個別の会計では、後期高齢者医療制度の開始に伴い、老人保健会計で90.3%減の8億3千万円、国民健康保険会計で2.3%減の12.1億円となりました。また、市域の一体性の早期実現に向け、国民健康保険税と下水道料金の統一を図りました。

企業会計全体の予算は、支出総額で、前年度に比べ、12.6%増の67億円となりました。病院事業会計では、市民病院の事業縮小のため、28.5%減の19億円となっています。

平成20年度予算の概要

予算総括表

(単位：千円、%)

会計別	本年度予算額	前年度予算額	比較	伸率
一般会計	34,900,000	34,500,000	400,000	1.2
特別会計	24,902,543	31,480,568	△ 6,578,025	△ 20.9
国民健康保険	12,182,242	12,468,857	△ 286,615	△ 2.3
老人保健	839,534	8,622,039	△ 7,782,505	△ 90.3
後期高齢者医療	1,632,823	0	1,632,823	皆増
公共下水道事業	2,449,717	2,514,270	△ 64,553	△ 2.6
農業集落排水事業	1,202,680	1,305,244	△ 102,564	△ 7.9
区画整理事業 (八丁台)	401,186	491,928	△ 90,742	△ 18.4
駐車場事業	167,204	166,900	304	0.2
介護保険	5,975,862	5,875,466	100,396	1.7
介護サービス事業	51,295	35,864	15,431	43.0
計	59,802,543	65,980,568	△ 6,178,025	△ 9.4

公営企業会計	収入予定			支出予定			伸率
	本年度予算額	前年度予算額	比較	本年度予算額	前年度予算額	比較	
水道事業会計	3,900,192	2,315,190	1,585,002	4,823,813	3,306,009	1,517,804	45.9
(収益)	1,991,847	1,945,579	46,268	2,163,220	2,281,942	△ 118,722	△ 5.2
(資本)	1,908,345	369,611	1,538,734	2,660,593	1,024,067	1,636,526	159.8
病院事業会計	1,911,750	2,674,155	△ 762,405	1,911,750	2,674,155	△ 762,405	△ 28.5
(収益)	1,870,125	2,599,700	△ 729,575	1,870,125	2,599,700	△ 729,575	△ 28.1
(資本)	41,625	74,455	△ 32,830	41,625	74,455	△ 32,830	△ 44.1
計	5,811,942	4,989,345	822,597	6,735,563	5,980,164	755,399	12.6

国民健康保険税の税率を統一しました。

平成 19 年度課税分 (不均一課税)

地区	区分	所得割率	資産割率	均等割額	平等割額
下館地区	医療分	8.30%	—	20,000円	23,500円
関城地区		7.50%	40.00%	18,000円	23,000円
明野地区		7.50%	42.00%	19,000円	20,000円
協和地区		7.43%	41.00%	16,000円	21,250円
下館地区	介護分	1.18%	—	10,000円	—
関城地区		0.70%	4.40%	3,700円	4,300円
明野地区		0.75%	4.50%	5,000円	6,000円
協和地区		1.31%	4.80%	5,300円	3,400円

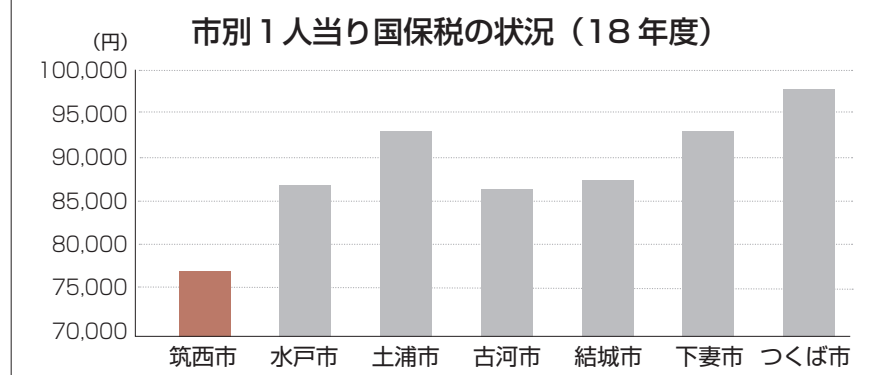
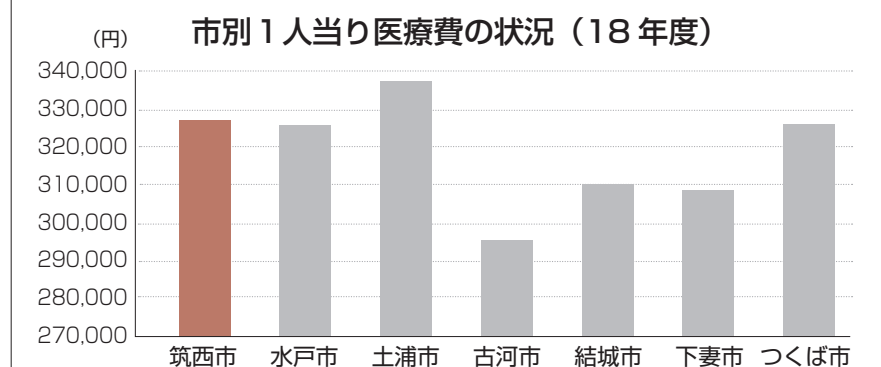
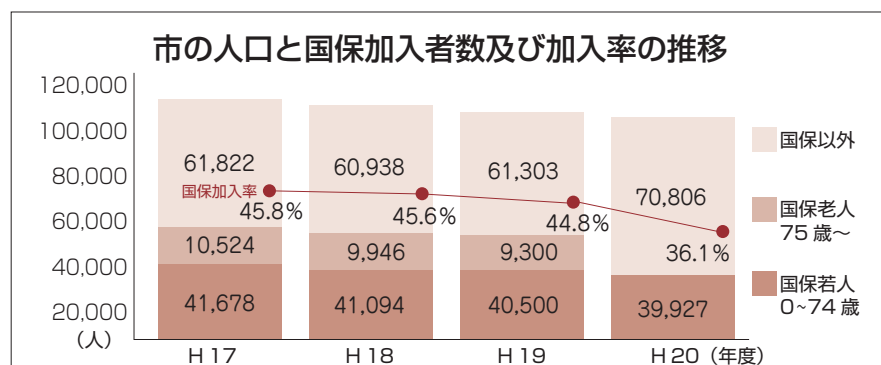
平成 20 年度課税分

区分	所得割率	資産割率	均等割額	平等割額
医療分	7.80%	0%	21,000円	22,000円
介護分	1.50%	0%	11,500円	0円
支援金分*	1.90%	0%	6,000円	6,000円

※支援金分は、4月から実施される『後期高齢者医療制度』の財源の一部にあてられます。これにより国保税は「医療分」、「介護分」、「後期高齢者医療制度支援金分」の3本立てになります。

筑西市の国民健康保険税の税率は、平成19年度まで、旧市町の税率で課税していましたが、平成20年度から統一しました。国保会計の運営状況は加入者の高齢化による所得の減少や医療費の増大などにより収入不足が続き、一般会計からの繰入金为国保の財源とすることで安定化を図っています。将来を見据えた国保財政の健全化のため、みなさまのご理解をお願いします。

349億円 歳出



- 民生費**
99億7851万4千円 (28.6%)
- 総務費**
48億9321万9千円 (14.0%)
- 公債費**
45億4130万2千円 (13.0%)
- 教育費**
44億6460万5千円 (12.8%)
- 衛生費**
36億6402万7千円 (10.5%)
- 土木費**
35億4489万円 (10.2%)
- 消防費 17億9037万3千円 (5.1%)
- 農林水産業費 14億6483万1千円 (4.2%)
- 議会費 2億3761万5千円 (0.7%)
- 商工費 2億2087万8千円 (0.6%)
- その他 9974万6千円 (0.3%)

平成20年度・新規事業



**住民参加型まちづくりフェア
ンド事業** 1,026万8千円

(財) 民間都市開発推進機構から拠出を受ける資金と市民・企業からの寄附金を原資として、市民団体など活動に対し助成を行い、市民協働のまちづくりを推進※(詳しくは6ページをご覧ください。)



**小児インフルエンザ予防
接種事業** 555万円

最近のインフルエンザの猛威に対処するため、子育て支援の一環として2回の予防接種に対して助成を行います。



インフルエンザ予防接種の助成を行い、保護者の経済的な負担軽減を図ります。



**麻疹・風しん混合予防
接種事業** 958万8千円

平成20年度から5年間、補足的接種として18歳と中学1年生に2回目を追加接種します。



**AEDの小中学校配置
事業** 805万円

AED(自動体外式除細動器)を小学校18校・中学校5校に配置します。(4校については既に配置済み)



全ての小中学校にAED(自動体外式除細動器)が配置されます。



協和中学校校舎整備事業 3713万3千円

昭和43年度に建築され、建築後39年が経過し老朽化が著しく、構造耐力が劣り危険なため建て替えを行います。平成17年度に用地測量・地質調査及び基本設計を実施。今年度の実施設計を行います。



平成23年度の完成をめざして、改築される協和中学校校舎



女性消防団の結成事業 203万2千円

市では「女性消防団」を結成します。活動内容は火災予防運動や防災訓練などでの啓発活動、自治会や老人会などでの応急手当講習会の指導など、女性ならではの活躍が期待されます。



**避難所井戸・照明等
整備事業** 566万8千円

指定避難所2か所に照明、簡易井戸施設、簡易かまどを設備し、災害発生時に市民に対して食料、飲料水などの支給を行います。

平成20年度・重点事業



転作促進事業補助 1億5850万円

生産調整(転作)を実施した生産組合及び農業者に対し、国・県に準じて、水稲作付生産額に見合うよう補足するために補助をします。



ほ場整備事業 1億4239万7千円

対象地域の区画整理、用排水系統及び道路網を整備し農業生産の選択、拡大と機械化による労力節減を図り、農業経営の合理化と安定化を確立していきます。



**夜間休日一次救急診療所
運営事業** 2236万8千円

真壁郡医師会筑西支部などの協力を得て、平日夜間及び休日並びに年末年始における、一次救急医療体制の確保を図り、救急患者に対応します。



明野中学校校舎整備事業 4億8867万3千円

平成18年度から3年間で工事を実施しています。今年度は東棟改築工事、付帯工事を実施。8月末に完成予定です。



今年8月に完成予定の明野中学校(写真は昨年竣工の西棟)



国民文化祭開催事業 288万4千円

茨城県を開催地とした第23回国民文化祭が実施されます。

【文芸祭・連句大会】

□開催日 11月8日(土)、9日(日)

□会場 日イヤモンドホール

【美術展・書】

□開催日 11月1日(土)～9日(日)

□会場 しもだて美術館



倉持・東石田線整備事業

1億円

主要地方道つくば・真岡線倉持地内を迂回する道路の整備。

□延長 2360m

□総事業費 8億8千万円



つくば明野北部工業団地進入路整備事業 1億2100万円

主要地方道つくば・真岡線から主要地方道筑西・つくば線明野バイパスを経由し、つくば明野北部工業団地への進入路。

□延長 1617m

□総事業費 4億1千万円



一本松・茂田線整備事業

2億1500万円

《B区間》エムテック南側から主要地方道筑西・つくば線まで

□延長 1420m

□総事業費 10億円



中心市街地の環状線として、「筑西しもだて合同庁舎」から東へ延びる中島富士見町線



《C区間》主要地方道筑西・つくば線から小貝川左岸まで

□延長 1000m

□総事業費 9億5千万円



中島・富士見町線街路整備事業 1億304万6千円

筑西しもだて合同庁舎東側から中島・西桜生線に接続し、中心市街地の環状線を形成する街路整備事業。

□延長 282m

□総事業費 7億3620万円



デマンドタクシー運行事業 5500万円

増加する交通弱者の移動手段確保と交通不便地域の解消を目標に、新しい公共交通システムとして、デマンドタクシー「のり愛くん」を本格運行します。



市民の新たな交通手段として、1日平均約200人が利用する「のり愛くん」



上水道（第4次拡張・石綿セメント管更新事業） 4億3228万円

下館地区の浄水場の改良と配水管の整備を実施。また、管の漏水、折損事故、地震による被害を防ぐため、年次計画により、石綿セメント管の布設替えを推進。



公共下水道整備事業

5億1287万8千円

年次計画により下水道整備を実施。

□全体計画 2999.5万円（うち認可区域 1415.9万円）
 ▼下館地区 827.4万円
 ▼関城地区 293.7万円
 ▼明野地区 205.6万円
 ▼協和地区 89.2万円



竹島地区農業集落排水事業 4億1562万6千円

竹島地区5集落（高島、川澄、小林、本郷、横島）から出る生活雑排水を処理する管路及び処理施設を20年度に完成させ、21年度から供用開始。

□計画人口 1380人

□計画戸数 304戸



協和北部第3地区農業集落排水事業 2億1311万1千円

協和北部第3地区の蓬田集落から出る生活雑排水を処理する管路及び処理施設を21年度に完成させ、22年度から供用開始。

□計画人口 780人

□計画戸数 159戸



沖田住宅建設事業

1億7993万円

沖田地区（みどり町）に市営住宅を建設。
 □敷地面積 4800㎡（3棟45戸）

☆平成13・14年度で2DK1棟建設

（15戸） ☆平成17・18年度で2LDK

1棟建設（15戸） ☆平成19・20年度で

3DK1棟建設（15戸）



沖田地区市営住宅はすでに2棟が供用を開始。今年度に最後の1棟が完成する予定です。



防災行政無線整備事業

2億8428万円

市内全域をデジタル方式無線で整備
 □事業内容 親局1局（本庁）、子局319局



デジタル方式の防災行政無線は、4月1日から運用を開始しました。